

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	らいおんきっず		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 20日 ~ 令和7年 4月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和7年 5月 1日 ~ 令和7年 5月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 5月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊富な専門職が在職している。	多職種連携によって、児童の発達状態や課題を検討しながら、それぞれの発達に合わせた支援を実施している。	内部研修や外部への勉強会へ参加することで、職員全体の専門性の維持向上をはかる。
2	少人数制の為、一人一人の児童との関わりを深く持つことができる。	職員全体が、各児童との関わりを深く持つことができ、発達レベルや課題を明確にすることで、児童の特性に合った支援を実践している。また、職員間の情報共有が密になされている。	都度、現場で職員間のコミュニケーションを図り、円滑な支援を実践し、児童の快適な活動に繋げる。
3	児童の全体的な成長を支援するため、5領域（健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性）に着目したプログラムを実践している。	各児童の特性に合わせた、5領域の活動を設定し、職員全体で活動を計画的に実践している。	活動後に振り返りの会議を行い、実施内容と反応を共有することで、次回以降のプログラムの改善や調整を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育スペースがやや狭く、活動が制限されることがある。	日によっては、利用児童の特性により、十分な活動スペースを確保できない場合が生じている。	屋外活動をプログラムに追加するなど、児童の活動の場を確保するように努める。
2	地域との交流の機会が十分とは言えない。	地域内の他施設との連携が十分に構築されておらず、情報交換などの機会が限られている。	地域の活動に参加し、情報を発信していく。
3	家族向けの研修会やペアレントトレーニングが十分に実施できていない。	家族向け研修会やペアレントトレーニングを実施するための専門スタッフや時間、体制が確保できていない。	スタッフの研修や外部セミナーへの参加を促進し、家族支援に関するスキルを向上させる。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		らいおんきっず						
		公表日 令和7年5月20日						
						利用児童数 5	回収数 4	
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4					
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4					
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。		2	2			他のクラブや地域の子どもと活動する場合は、設けておりませんが、併設する高齢者デイサービスの利用者との交流の機会を設けております。
	保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4				
13		「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
14		事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		2	2			
15		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4					
16		定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4					
17		事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
18		父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2	2			保護者会は、開催しておりませんが、保護者からの希望があれば、保護者同士のご紹介などは、実施しております。
19		子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	1				

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思われますか。	4					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2	2				
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3		1			
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	2				
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4					
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	4					
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	4					
	29 事業所の支援に満足していますか。	4					

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	らいおんきっず				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用児童の個別性や活動に合わせて、設備配置の変化や活動場所を変えるなどの工夫を行っています。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		医療ケアの必要な児童が多く、看護師を人員基準以上に配置しています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		生活空間は、バリアフリーとなっております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日のフロア一掃除、物品や用途に合わせた消毒を実施しています。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		児童の様子により、隣接する部屋を静養室に利用するなどの工夫を行っています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		業務中もお互いに目の届く範囲に職員同士があり、コミュニケーションを取りやすく、都度目標設定と振り返りを実践しています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は行っておりません。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		義務化されている研修等、法人内でオンライン研修に参加をしています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		日々の様子の観察と保護者のニーズを聞き取り、作成しています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		少人数制の為、全ての職員が児童と深く関わっており、チームで検討をしています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿った支援内容を基本として支援を実践しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		児童の個別性に合わせた活動を実践しています。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			

	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		児童毎に、利用日の看護・保育記録を作成しています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○			
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて、卒業後の移行について、学校での会議に参加しております。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		今後、必要に応じて、児童発達支援センターとの連携に心がけていきます。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		○		保育所等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会は、設けておりませんが、併設する高齢者デイサービスの利用者との交流があります。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		業務に支障がない範囲で参加をしております。	
	34 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		家族に対して家族支援プログラムや研修の機会は設けておりませんが、地域での情報などがあれば、お伝えしていきます。
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		日々の送迎時に、保護者の意向を確認して、サービス提供を実践しております。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者会は、開催しておりませんが、保護者の希望があれば、保護者同士を紹介しています。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		保護者とのグループラインにより、活動内容の発信を行っています。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			

	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>			行事に地域住民を招待する事は行っていませんが、毎月開催されている地域会議に出席しております、事業所の事業内容等の紹介を行っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		年に2回、併設する高齢者デイサービスと合同で、避難訓練を実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>			